

美山千年の川プロジェクト ～命溢れる川づくり～

〒601-0713
京都府南丹市美山町芦生スケ尻14-2
電話:0771-77-0588
E-mail:office@ashiu.org
http://ashiu.org



ひろげる助成

1年目

実践



川魚の個体数調査

川文化の情報を 25名から聞き取る	40人
産卵床が5か所生まれる	5箇所
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する 達成度	30%

課題

由良川の最上流部、通称美山川は近年、河川環境が悪化し川魚もさまざまな原因で減少しているという声が多くある中、悪化しているデータがなく保全方法も分からない状態である。

目標

美山川の魚が本当に減っているのか否かを測る為に必要な河川環境指標データを作り、保全するための方法を見出す。また美山川の上流部の文化資源を掘り起す。

活動内容と成果

河川環境悪化に仮説を立てそれに基づいて実験的な対策を行うことで保全方法を導き出そうとした。今年度の活動では魚種を特定し、その魚の産卵場所が十分にあるか否かを調べた結果、予想を上回る産卵場所が発見できた。ま

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

天候に左右されることが、川魚の発見にはある程度の訓練や慣れが必要であるということがあり、苦労した。

■ 工夫した点

正式なカウント作業をする前に、別場所で調査方法の練習を必ず行ってからするようにした。



た指標となる個体数データが生まれたことで今後河川状態を比較して測ることができるようになった。専門技術、目視作業などから、川の上流部に住む魚種が特定できたので、次年度は中流部の魚種特定に取り組む。地域住民からの聞き取り作業から、この地域での川魚の呼び名や川の地名について深く記録することができた。



カワ目シノボリ(魚)の卵

今後の展望

産卵場所が予想より多かったことから、産卵場所ではなく生育場所への問題が生じている疑いが生まれた。特に稚魚が増水などから身を隠す場所が少なく感じることから、次年度は生育場所の保全実験作業に乗り出す。